

令和 6 年度第 5 回練馬区食育推進ネットワーク会議（第 9 期）会議要録

1 開催日時

令和 7 年 3 月 26 日（水）午後 2 時 3 0 分～ 4 時 3 0 分

2 開催場所

練馬区役所本庁舎地下多目的会議室

3 出席者

委員長 健康部長

副委員長 健康部健康推進課長

委員 太田委員、秋山委員、鈴木委員、田原委員、増子委員、小倉委員、中山委員

中川委員、若林委員、櫻井委員

幹事 大泉保健相談所長、都市農業課農業振興係長、清掃リサイクル課清掃事業係主査

（代理）保健給食課学校給食係長、保育課保育所給食係長、生活衛生課食品衛生担当主任（代理）、健康推進課健康づくり係長、健康推進課歯科保健担当係長、石神井保健相談所栄養担当係長、北保健相談所栄養担当係長

事務局 健康推進課栄養食育係 3 名、

欠席委員 田中委員、歌川委員、加園委員

4 公開の可否 公開

5 傍聴者数 0 名

6 配付資料

（事務局） 会議に先立ちまして、お願いがございます。本会議につきましては、「練馬区の付属機関等の会議の公開および区民公募に関する指針」により、会議は原則として公開することとしており、傍聴も可能としております。また、会議録は、要点記録として公開いたしますので、録音させていただきます。ご了承のほど、お願いいたします。会議録中の表記については、発言者名を特定せずに「委員長」、「委員」のように表記させていただきます。

（副委員長） 副委員長の健康推進課長です。委員長の健康部長が、冒頭不在となっております。到着まで副委員長が進行を務めさせていただきます。それでは令和 6 年度第 5 回練馬区食育推進ネットワーク会議を開催いたします。本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。本日は食育推進ネットワーク会議 9 期の最後の会議になります。第 9 期のまとめを中心に進めてまいります。資料・次第に沿って進めさせていただきます。事前に欠席のご連絡を頂いております委員もいらっしゃいます。それでは次第の 2、案件 1 に入ります。練馬区食育推進ネットワーク会議（第 9 期）活動報告についてです。ア）練馬区食育推進ネットワーク会議（第 9 期）構成員について【資料 1】の説明をお願いします。

(事務局) 資料 1 の説明

(副委員長) 続きまして イ) 食育推進ネットワーク会議 (第 9 期) の活動報告について【資料 2】の説明をお願いいたします。

(事務局) 資料 2— 1, 2 – 2 の説明

(副委員長) 以上活動報告として第 9 期の振り返りを報告させて頂きました。
皆さんの方から質問や感想はございますか。様々なご協議を頂きそれぞれ事業に繋げることが出来たかなと思います。改めて御礼申し上げます。
続きましてエ) 食育推進ボランティアとの協働事業「ちゃんとごはん」の報告について【資料 3】の説明をお願いします。

(事務局) 資料 3 の説明

(副委員長) 資料 3 ではこれまでの取り組みとこれからの事についてお話させていただきました。
第 9 期は、コロナ明けからの活動で様々な事業を工夫しながら進めました。委員の皆様、食育ボランティアの皆様の協力を得ながら工夫を重ね事業を実施してきたということです。ありがとうございます。まだ 3 月 28 日にも事業があるという事で、ただ今の報告は途中報告になりますので、今後、最終の数字を固めます。今の段階でのご意見等ございますか。
続きまして案件エ) ねりまの食育応援店事業について、ねりまの食育応援店登録状況について【資料 4 – 1】【資料 4 – 2】の説明をお願いします。

(事務局) 【資料 4 – 1】【資料 4 – 2】の説明

(副委員長) 「ねりまの食育応援店」については、目標として掲げていた 100 店舗を達成し、今年度は「おいしく完食協力店」とも事業協力をしたということです。引き続き今後も他部署と連携して食育に力を入れていきたいという事です。ご質問等ありますか。
「ねりまの食育応援店」冊子は、現在、追加分を差し込んでおりますが、令和 7 年度版発行までは、こちらをお持ちいただけたらと思います。
続きましてオ) Instagram を活用した情報発信について【資料 5】の説明をお願いします。

(事務局) 【資料 5】の説明

(副委員長) Instagramの名称変更いたしました。今後も区内の農業者の方や、「ねりまの食育応援店」、他の部署とも連携し、多くの方が興味を持てる投稿を工夫していくという事です。【資料5】について何か質問はありませんか。

(委員) Instagramですが、ねりまの食育応援店の報告にあったInstagramへの投稿とはちがうものですか？

(事務局) 同じものです。

(委員) 「ねりまの食育応援店」をもっとPRするのに専用のInstagramを作ったらどうかなと思っています。そこで100店舗のお店と関わったり、情報のやりとりなどをして関心を持っていただくとよいと思います。PRの連携の種類が多くなるといいと思います。レシピの表現の仕方にも工夫が必要です。情報発信にはアプリとか色々あると思うんですがフォロワー数が伸びていないですね。フォロワー数が伸びるような事を考える必要があります。例えば応援店に関地域にある全国的にも有名な八百屋さんの方に協力を頂くとか、練馬に住む有名人に情報を頂くとか、農家にタレントの方が、取材されたりすることがあります。話題はいろいろなところがあるので、Instagramに吸収してPRするとフォロワーする人が増えるのではないかと思いつきました。

(副委員長) ご意見ありがとうございます。いくつかご意見をいただきました。

1つはInstagramでの応援店の更なる周知、または他のアプリ等との連動です。著名人や著名な場所を活用してPRするご意見頂きました。地域の顔になっている方たちにご協力をいただくなど新たな視点を持つという貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。応援店も101店舗登録となり、SNSをやられている方もかなり多くいらっしゃいます。私どもで情報の発信するだけでは限界があります。著名人の方にご協力いただくなど貴重なご意見も頂きましたので、来年度以降、よりInstagramの情報発信に生かせるように努めてまいりたいと思います。応援店のポスターについても、完成したばかりですが、Instagramで紹介していきたいと思っております。店舗の登録については推薦もお待ちしております。このようなことも区民の方々に伝え、区民の方が推薦したいお店があれば「ねりまの食育応援店」は増えていくと期待します。今後も周知に努めたいと思います。

(副委員長) 続きまして(カ)若い世代への食育の取り組みについて【資料6】の説明をお願いし

ます。

(事務局) 【資料6】および若い世代向け食育啓発冊子「ちゃんとごはん」の説明

(副委員長) 【資料6】についてと冊子の説明をさせて頂きました。エコバックの作成や冊子の作成にあたりましては、委員の皆様にとくさんのご意見を頂きました。ありがとうございます。来年度からこういったものを活用して若い世代の食育に取り組んでいくという事です。ここまでで案件2の(1)が終了いたしました。続きまして(2)その他について、何か連絡事項などありますか。

(幹事) 宣伝なんですけど、チラシを作りました。
全国農業フェスティバル2024です。前は2023年に1日だけの実施で、大変多くの方に来ていただきました。36000の方がいらっしたんですが、この大半の方が10時から12時半に集中して、収集がつかないほどでした。全国から様々なおいしい取れたての農産物、自慢の農産物、加工品の販売をしていただいたのですが、お昼にはほとんど売り切れてしまいました。ご好評を頂いたので、2025年11月は2日間出展することになりました。市街地に農地がある市の出店数を増やして30以上にしようとして担当者があちこち連絡をしています。余談ですが、昨日農家さんと打ち合わせをしました。どのような野菜の食べ方が美味しいか、保存方法はと聞かれますが、大事なことは、味付けしなくていいから、なるべく早く食べなさいということです。味が違うことがわかるということです。見た目はスーパーのものが良く、でも鮮度が落ちるとスーパーと同じものになってしまう。例えば午前中に収穫体験に行ったとか、朝から庭先の直売所で野菜を買って、それをその日の昼や夜食べるなら、いままで食べたことのないくらいおいしく食べられるということです。一部サツマイモのようにしばらくねかせておかないと、美味しくならないものもありますが、それ以外のものはすぐ食べたほうが良いです。住宅地に農地がある最大のメリットですよ。どれだけ有名な産地のものでもトラックで運んでこなくてはなりません。都市農業の魅力をアピールする場にしたいなと思っています。今回も全国から農産物とかジャムとかの加工品を色々な自治体を持ってきます、またそういった物を食べられるようなキッチンカーも出店します。細かいところは担当部署で企画を練っているところですが、当日の2日間だけでなく開催前にも関連イベントを企画しています。随時情報をアップしていますので是非チェックしていただくと大変ありがたく思います。

(委員長) 委員長の健康部長です。ここからの参加になります。11月に全国都市農業フェスティバルがあり準備中という事ですが、途中経過については二次元コードからSNSで見

られるということです。是非イベントへの参加をお願い致します。他に連絡事項はございませんか。

(幹事) 本日はこちらの Instagram をご紹介させてください。私たち健康推進課で栄養食育係と取り組んでいるものです。健康づくり系の Instagram は健康情報に特化した情報発信という事で立ち上げました。ねりま健すたぐらむ、健すたと呼んでいただきたいと思います。初回は3月17日にアップしました。1週間に1回くらいのペースで配信していこうと思っています。今回は睡眠について発信しております。感染症の情報や緊急でお伝えしたい情報、日々の生活に役立つような健康に関する情報を配信させて頂きたいと思っています。どうぞフォロワーになって頂けると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

(委員長) ありがとうございました。区の Instagram、ねりま健すたぐらむのご案内でした。ご質問等ございますか。

(委員) 練馬区の公式 LINE に入っているのですが、感染状況もそちらから発信があったりします。いくつも発信があるのはいかがなものかと思います。

(副委員長) 先ほども栄養食育係で発信する Instagram の話がありましたので、ご意見頂きました。色々な媒体があるという話があり、さまざまなものを繋げてうまく発信できるのかなと思っています。当然 Instagram だと文字より画像のほうがパッと見てわかりやすく効果的だと思います。最初のトピックスとして睡眠を取りあげたということですが、ずっと読み物からは難しいので、分かりやすくしているものもありますのでご覧いただければと思います。先程来お話をさせて頂いている食の Instagram とも連動させながら皆さんの健康に役立てていければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(委員長) 区で発信している媒体が色々あって、数多くてどれを見たらいいかわからないという意見もありますので、単にお知らせのものと区民の皆さんに参加いただくためにご案内しているものなどがありますが、今後整理していかなければならないと思います。整理もし、必要な機能は拡充するなど進めていきたいと思っています。

(副委員長) 練馬区健康づくりサポートプランについての状況についてお知らせします。区の健康づくりの総合計画ですが、その中で食育は一つの大きな柱という事でお知らせさせて頂きました。そちらの素案について区議会にも今月、報告させて頂き、策定というこ

とになります。これまでご意見頂戴しましてありがとうございました。4 月には区のホームページにアップして、その内容に基づいてネットワーク会議での意見も踏まえながら進めて参りたいと思っております。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

(委員長) サポートプランは、今月末策定予定です。来月にはホームページ上でご案内しますのでご確認いただければと思います。それでは最後になりますので第9期委員の皆様、委員としての活動についてご意見・ご感想などお願いいたします。

(委員) 2年間お世話になりました。ありがとうございました。大変勉強になりました。今改めて、冊子やバックの作成に関わることが出来、とても有意義な2年間だったかなと思います。

(委員) たくさん学ばせていただくことがあり、少しでも力になれることがあったならよかったかなと思います。2年間ありがとうございました。

(委員) 2年間ありがとうございました。皆様とご縁ができたことを感謝しております。今まで人に食のバランスとか栄養とか伝えてきました、実際には自分が大根を育てたこともないし、人参を育てたこともないんだと気づきました。援農ボランティアに登録させて頂きました。時々参加させて頂いていますが、口を利くこともなく1時間2時間、ひたすら雑草をとっている自分の姿にやればできるんだと感動しています。会議に参加させて頂いているおかげで机の上だけでなく土に触れたりすることが大事だなという事を学ばさせて頂きました。

(委員) 2年間ありがとうございました。この会に参加するという事で、もう少し私は理想を描いていました。しかしそうではない状況が現場にあり、区の限界を感じるようになりました。なかなか食育は大変だなと実感しているところです。いいなと思ったことは食育のお店が100店舗あって、食育をやろうと思っているボランティアの人たちがいることが分かりました。そういう人たちがどう繋がっていくか、作って食べる場所を設置してその場と人を繋げることが大切だと思います。食事・運動・休養の3つのバランスをしっかりとっていく、練馬区健康づくりサポートプランの中心になってほしいなと思います。その年代のステージに合わせて進めていくのが大事なことだと思います。食育は大変で、少しずつコツコツ積み上げていかなくてはならないのが現状だと思います。私自身も家族も良い食生活を積み上げていきたいなと思います。若い世代のための冊子「ちゃんとごはん」も雰囲気がいいなと読ませてもらっています。2年間ありがとうございました。

- (委員) 1年間でしたけどお世話になりました。委員の方の話を聞いて自分の勉強になりました。今後、学校の立場から関われることもあると思いますのでこれからもよろしくお願いします。
- (委員) 2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。色々な形で関わらせて頂きました。こうして委員として参加させて頂いて皆様とご縁が出来たことをありがたいなという風に思っております。委員としては外れますが、今後も、練馬の食育についてはボランティア活動が中心になるかと思いますが、引き続き関わっていきたく思っております。またどこかでお目にかかれる方もいらっしゃるかと思いますので、その際はよろしくお願いします。最後になりますが、幹事さん、若い世代のための冊子「ちゃんとごはん」、すごくよくできていますね。時間がない中で、私も含め、委員のみんなで入れてほしいことや希望をいろいろ言いましたが全部、盛り込んでくれて感動しました。読み物としてすごく読みやすくできているので、最後まで一気に読みたいという内容になっています。ありがとうございました。
- (委員) 練馬区の保育園の代表として参加させていただきました。食育で関わらせて頂いて非常に視野が広がってありがたいなと思います。食育とか食べることについては保護者や子供たちも非常に興味がありまして、保育園の行事をやるときには食べるものを出すと出席率が上がるという現状があります。今月 29 日土曜日に食について講演会をするんですが出席率が高く、非常に関心が高いという事がわかっています。私がかまくつなげられたかな、と思うと反省も多いです。2年間携わらせて頂いたので良い関係を築いていければと思っております。どうもありがとうございました。
- (委員) 食品衛生協会からの出席です。6年度は欠席が多くて申し訳ありませんでした。この間あるセミナーで生命の事について聴きました。生命の研究をされている先生は、普通の方で 100 年とは生きると言われていますが、それには食事が大切ということです。バランスよく食事をすると病気にもなりにくくなります。老衰という死因はなく、皆さん何かの病気で亡くなるそうです。だから病気にならないためにも、食が大切だという事を学びました。それには子供の頃からの環境が大切です。私も孫と一緒に住んでいますので食の事について、よく話し合います。やっぱり子供の頃から家族で色々な話をして食に対する意欲を子供に持ってもらおうというのが大切と常に思っています。ありがとうございました。
- (委員) 2年間色々ありがとうございました。私も農協の職員ですので食というか食農教育という事業をやっています。この会議に参加してすごく勉強になったところでございます。よく考えるのは、食農教育の価値を発信していくことがこれから必要だと思っております。例え

ば米が値上がりしてるとか、去年はキャベツが高騰しました。しかし本当に値段は高いのか、適正なのか考えていかななくてはなりません。セットで考える必要があると思っています。そうしないと結局食育を考えるうえで肝心の食材がなくなります。自給率が40%を切っている国ですので、こういった価値を発信していく、考えていくことが大切です。食を作る方に意味とメッセージを伝えていけばいけば意義があることなのかなと感じています。ありがとうございました。来年から違う部署に行くことになりまして、この会議に出ることもできないんですが、引き続きこういった取り組みを応援していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

(委員) 食育応援店として参加させて頂きました。2年間ありがとうございました。この食育応援店をきっかけに都市農業フェスティバルや高松みらいのはたけ、色々な所でお世話になり、行政と民間での繋がりというところをすごく感じる事が出来ました。なかなか理想と現実のギャップっていうのが大きくあるなと思いつつ、短時間でなんとかなる問題でもないことが多いと思うので、今後も食育や食を実際に提供している者として、研鑽を続けながら少しずつやれることは小さいかもしれないですけども務めていきたいと思っています。ありがとうございました。

(委員長) 皆さん2年間ありがとうございました。庁内幹事の皆さんにもご発言いただきたいと思いますが、先ほどお名前が出た幹事の方一言お願いします。

(幹事) 先ほど冊子のところでお話させていただきました。私自身が食育推進ネットワーク会議に数年関わっていましたが、健康推進課にもいましたので、何期もネットワークを見させて頂きました。第9期は、皆様の意見を頂いて色々なものが作り上げられたのではないかなと思っています。今回これで9期は終わりになりますが、皆様にこういう場があるという事を他の方々に周知していただくと私たちの活動もしやすかったりするのかなと思います。今後とも、ちゃんとごはんや、食育応援店を応援していただくとありがたいなと思いました。若い世代のための冊子「ちゃんとごはん」は、みなさまに意見をいただき完成させました。本当にありがたいと思っています。

(委員長) 事務局を代表して幹事より一言お願いしていいですか。

(幹事) 2年間ありがとうございました。私も以前このネットワーク会議を担当させて頂き今年度また担当させていただきました。会議の中 Instagram について話題になりましたが、そのなかで応援店があり、農家があり、食育の繋がりが以前担当した時より強くなったこと

を感じました。栄養改善法とか健康増進法の中で栄養に関する仕事をしてきたんですが、食育基本法が出来て食育ってなになっていうところから始まって、今では食育が当たり前に語られるようになり、食育ってこうやって繋がっていったというような実感がありました。また、今後も食育が広がっていくものと思います。また私も地域で食育に関わりたいと思っています。

(委員長) 5年度6年度とお忙しい中、皆様にはお集まりいただきまして本当にありがとうございました。ご協力に感謝申し上げます。今後も練馬区食育推進会議で練馬ならではの食育を目指してやっていきたいと思っています。来期はメンバーも変わっていくわけですが、皆様、お気づきの点ございましたらいつでもご連絡を頂いて、ご意見いただければと思っていますのでどうぞよろしく願いいたします。それでは令和6年度第5回練馬区食育推進ネットワーク会議（第9期）をこれにて閉会とさせていただきます。2年間本当にありがとうございました。